

ALPS処理水希釈放出設備及び関連施設 放水トンネルのセグメント厚さ確認方法について

2023.5.16

TEPCO

東京電力ホールディングス株式会社

1. 鉄鋼コンクリート造覆工板の厚さ確認方法について

- 中詰めコンクリートの打設前に、鋼製セグメントの端部と中心部に通した水糸の長さを水平、鉛直方向について測定する。
- 中詰めコンクリートの打設後に、鋼製セグメントの端部測定部と同じ位置の中詰めコンクリートと中心部に通した水糸の長さを水平、鉛直方向について測定する。
- 両者の差分から中詰めコンクリート部の高さを確認する。
- 1リングについて4か所測定、到達部の4リング分計16か所の測定を行う。

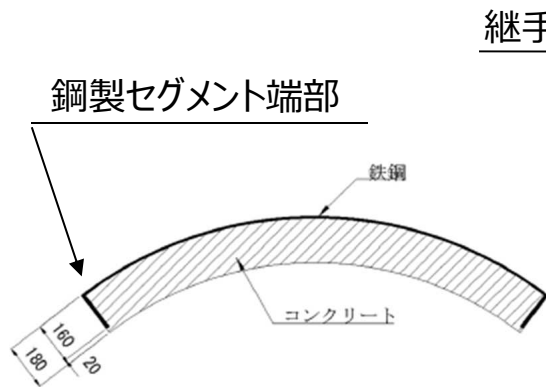
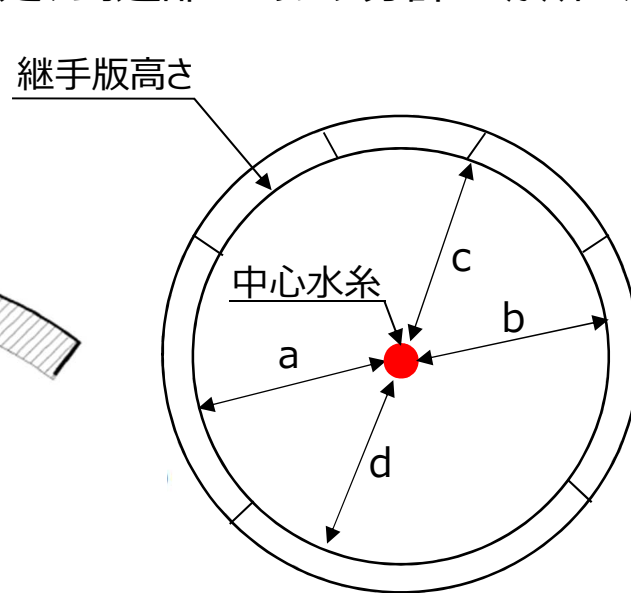
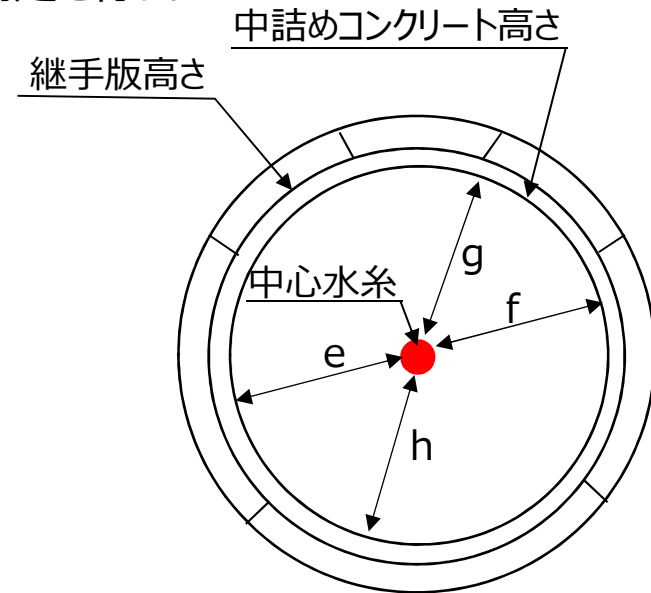


図 中詰めコンクリートの厚さ



中詰めコンクリート打設前測定箇所
a,b : 中心水糸からの水平方向
c,d : 中心水糸からの鉛直方法



中詰めコンクリート打設後測定箇所
e,f : 中心水糸からの水平方向
g,h : 中心水糸からの鉛直方法

2. 製造者が定める寸法許容差

No.	名称	寸法※1	寸法許容差	
5	放水立坑（上流水槽）	たて：34,500mm	0～+69mm※2	
		よこ：16,900mm	0～+80mm※2	
		高さ：6,000mm	0～+20mm※2	
6	放水立坑（下流水槽）	たて：4,600mm	0～+20mm※3	
		よこ：10,000mm		
		高さ：17,200mm	0～+規定しない※3	
7	放水トンネル	セグメント（鉄筋 コンクリート造）	幅：1,000mm	-1mm～1mm※3
			厚さ：180mm	0mm～+規定しない※3
		セグメント（鉄鋼 コンクリート造）	幅：1,000mm※4	-1.5mm～1.5mm※3
			厚さ：180mm	-15mm～規定しない※3
			高さ（鋼製セグメント）： 160mm	-1.5mm～1.5mm※3
		延長：1,031m	-5m～+5m※3	
内径：2,590mm	-30mm～+30mm※3			
8	放水口	たて：8,000mm	0～+20mm※3	
		よこ：11,000mm		
		高さ：8,300mm		

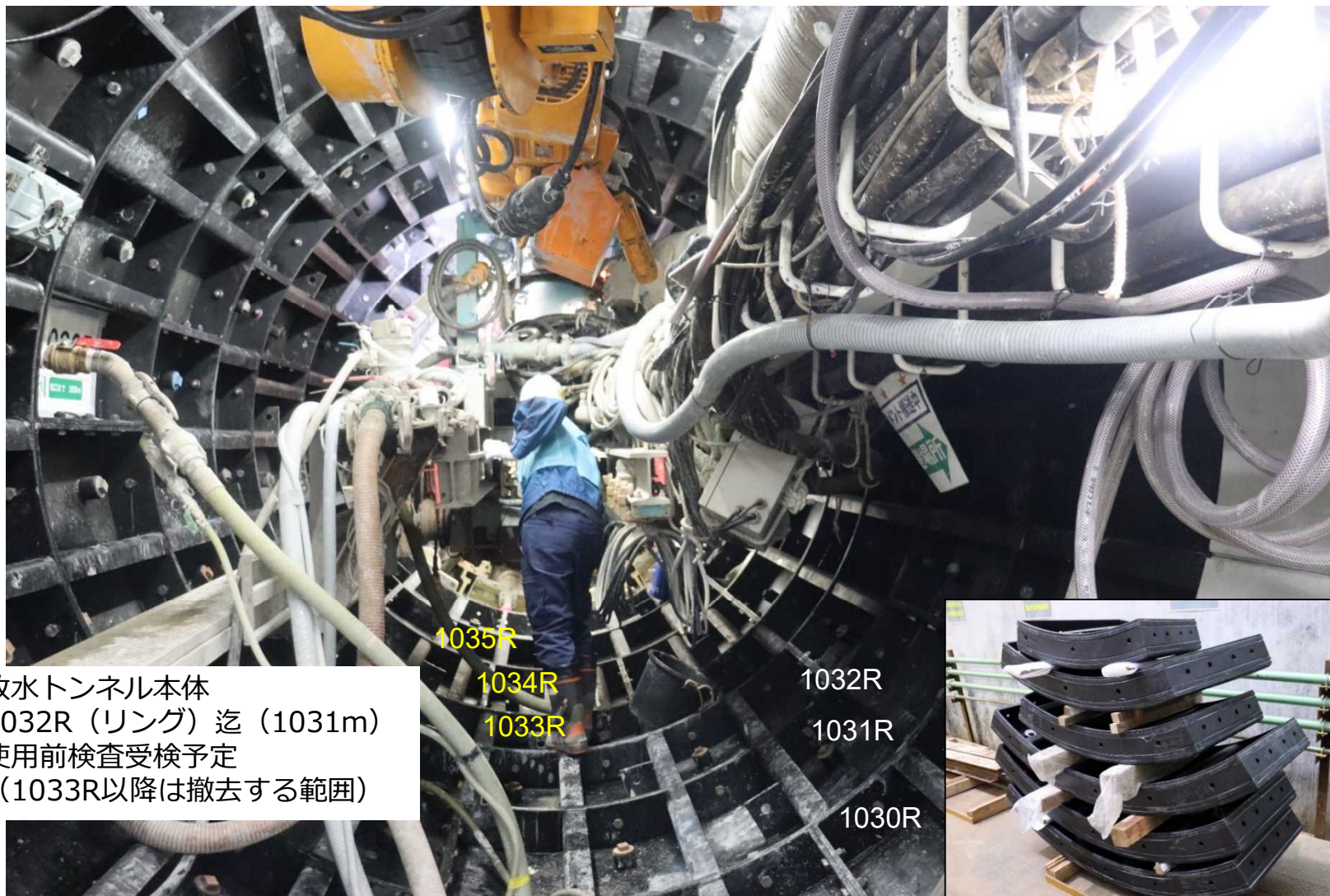
※1：No.5、No.6、No.8は内寸を示す。

※2：プレキャスト式雨水地下貯留施設（壁式多連型）技術マニュアルによる。

※3：社内基準

※4：到達部の位置合わせのため、900,800,700,600mmのセグメントを用意する。

3. 施工状況 放水トンネル施工状況（掘進完了後 2023/4/26）



放水トンネル本体
1032R（リング）迄（1031m）
使用前検査受検予定
（1033R以降は撤去する範囲）

1035R
1034R
1033R

1032R
1031R
1030R



4. 施工状況 放水トンネル施工状況 (2023/5/9)

